



# スマートIoT推進フォーラムの取組み

国立研究開発法人情報通信研究機構（スマートIoT推進フォーラム事務局）

## 1. スマートIoT推進フォーラムの設立経緯と概要

スマートIoT推進フォーラムは、IoT推進コンソーシアムの下に、先進的なIoTの技術開発・実証を推進する「技術開発ワーキング・グループ」として設置された。徳田英幸座長（国立研究開発法人情報通信研究機構・理事長）の下、16名からなるスマートIoT推進委員によって活動を総括している。会員数は2,252会員（2017年7月5日現在）である。最新の会員数及び活動内容は本フォーラムのWEBサイト（<http://smartiot-forum.jp/>）を確認していただきたい。

本フォーラムの体制は図のとおりである。

## 2. 技術戦略検討部会の活動

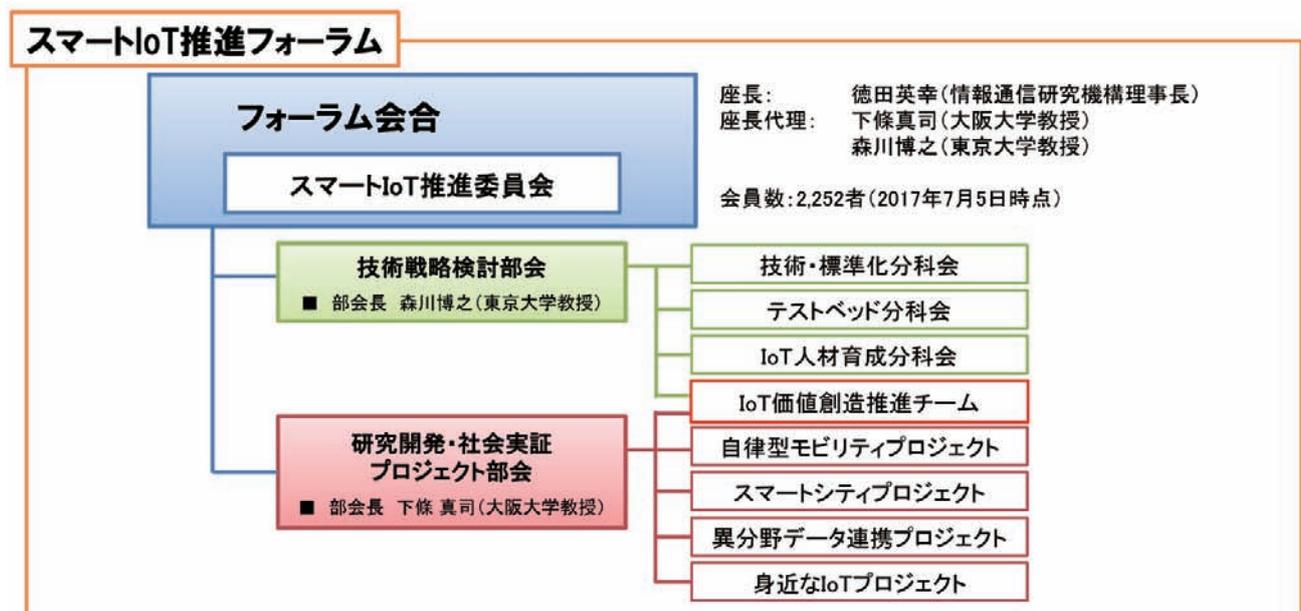
技術戦略検討部会は、IoT・ビッグデータ（BD）・人工知能（AI）等に関する技術の開発・実証、標準化及び国際展開に関する技術戦略等の検討を行うことを目的としており、技術・標準化分科会、テストベッド分科会、IoT人材育成分科会の3分科会にて活動を行っている。

### 2.1 技術・標準化分科会

技術・標準化分科会は、国内外の動向把握（技術・利活用、標準化・グローバル連携等）、技術・標準化戦略及び普及展開戦略の検討等を検討テーマとして活動している。これまでに13回の会合を開催し、エリアネットワークに関する標準化の検討、ネットワーク運用管理に関する標準化の検討、ユーティリティネットワークに関する標準化の検討等を実施した。今後は、戦略的な国際標準化に向けた検討、国際連携の強化、関連するフォーラム活動との連携強化等を図っていく予定である。

### 2.2 テストベッド分科会

テストベッド分科会は、IoT・BD・AI等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的として活動を推進している。これまでに2回の会合を開催し、2017年度末までにあと2回の会合を開催する予定である。



■ 図. スマートIoT推進フォーラムの体制図（敬称略）



## 2.3 IoT人材育成分科会

IoT人材育成分科会は、IoTの利活用等に必要な基本知識の要件に関する検討とIoTの利活用等を行う人材の育成推進方策の検討等を行うことを目的とした活動を行っている。これまでに3回の会合を開催し、「電波の有効利用を図りながら、ワイヤレスIoTを適切に導入・利活用するための要点ver.1.0」を2017年4月にフォーラムHPを通じて公開した。

## 3. 研究開発・社会実装プロジェクト部会の活動

研究開発・社会実装プロジェクト部会は、IoT・BD・AI等に関する技術の開発・実証に係るプロジェクトを推進することを目的としており、会員のイニシアティブにより形成されたプロジェクトにて連携を推進するため、「自律型モビリティプロジェクト」、「スマートシティプロジェクト」、「異分野データ連携プロジェクト」、「身近なIoTプロジェクト」の4つのプロジェクトにて技術開発・実証の検討及び社会実証に向けた技術、課題の検討を推進している。

## 4. IoT価値創造推進チーム

フォーラム設立から約1年半が経過し、分科会・プロジェクト等の体制整備が進むとともに議論が活性化した。それと歩調を合わせるように会員数も増加し、社会（産学官）における認知度が大きく向上した。一方、フォーラム会員の一部からは、会員向けサービスの拡充及び広報活動の強化、特に一般ユーザに訴求する情報発信（アピール）の工夫を求める声が上がっている。上記課題に対応するため、企画・推進機能に特化した専門チーム（IoT価値創造推進チーム）を両部会直下に設置し、同チームが中心になり、各種施策を企画・推進するとともに、全体事務局と分科会・プロジェクト事務局の連携強化を図ることとし、2017年3月のフォーラム総会でIoT価値創造推進チームの設立が承認された。

IoT価値創造推進チームでは、①マーケティング活動のトータルコーディネート、②アイデアソン等、イベントの開催、③IoT導入事例収集支援と会員向け紹介、を主要なミッションとし2017年7月に発足、活動を開始した。

以上、スマートIoT推進フォーラムの取組みについて述べた。スマートIoT推進フォーラムへご関心をお持ちいただけの方は、ぜひスマートIoT推進フォーラムのWEBサイトから入会手続きの上、フォーラム活動へ参画いただきたい。